

# 結いもあるみなみ

2019年7月  
発行  
総合病院南生協病院  
相談連携室  
TEL 052-625-0559

平素より、南生協病院の地域医療連携に、ご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます

## 外科 肛門診療拡大のおしらせ

日頃当院との病診連携にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。  
この度南生協病院外科では、肛門診療を拡大し、毎週受診ができるように体制を整えました。

第1・3・5週の金曜日 14:00~15:30 と、第2・4木曜日 14:00~15:30 の午後の診療で待ち時間もなくゆったりと診察ができるようにいたしました。予約に抵抗を感じる方でも気軽に予約が取れるように、将来的にはウェブ予約もできるようにしていく予定です。



外科部長 長谷川 誠

痔核の治療には、新しく ALTA による硬化療法も導入し、結紮切除との組み合わせや硬化療法単独など、患者様の生活スタイルにあわせた方法で、患者様への負担も減らしていけるように努力していきます。もちろん痔核や直腸粘膜脱などの疾患はもとより、排便にお困りの方の相談でも対応させていただきます。

肛門疾患でお困りの患者様がいらっしゃったら是非当院外科へご紹介いただけますようお願い申し上げます。⇒⇒ご予約お問い合わせ 052-625-0559 (相談連携室)

## 小児 舌下免疫療法について

免疫療法は100年前からあります。以前、皮下注射による免疫療法（減感作療法）が流行っていました。その後、よく効く薬が開発され、免疫療法は少なくなりました。しかし、症状を抑えている薬と異なり、アレルギーを元から治す免疫療法には捨てがたいものがあります。

スギやダニによるアレルギー性鼻炎の小児にも、舌下免疫療法が可能になりました。錠剤を口の中で溶かす舌下免疫療法は、注射のような痛みがなく、安全性も高く注目されています。口は外界からの入口となる場所なので、免疫に関与する細胞がたくさんあります。舌下に少量の抗原を置くことにより、アレルギー反応を無くそうとするのです。

スギの舌下免疫療法はスギ花粉が少なくなる6月以後に開始します。継続することが大切で、3~5年は続けましょう。

開始初期に口内に違和感を感じても、継続できるように工夫します。

スギやダニのアレルギー性鼻炎で、従来の薬では良い効果が得られ

ない方にお勧めです。⇒ご予約お問い合わせ 052-625-0559 (相談連携室) 小児科部長 増田 進

